



正しい努力の仕方と
情熱を持てる目的の見つけ方

どうも、AUN です。

『上手くいく人といかない人の決定的な違い』

はもう聴いてもらえたでしょうか？

「YES」の人だけ、このレポートを読んでください。とても大切な事が書かれています。

・・・

僕はよくミスをします。昔から天然ボケで、忘れ物が超絶多いです。社会人になるまでは「かわいらしい個性だ」と開き直っていましたが、働くようになってからというもの、人に迷惑をかけてしまう経験を多くしたことで、本気で改善に努めました。

だいぶ直りましたが、普通の人レベル以下です。誤字脱字、メルマガの配信ミス、リンクの不備、メールの返し忘れ、コンテンツの配布し忘れ etc…今でも多くの人に迷惑をかけてしまっています。

ただ、そんな僕に限らず、普通の人でもミスや失敗、トラブルを招いてしまうことはあるはず。そして、日常の多くの場面で、それらを釈明しなければいけない事態も起こると思います。

自分のミスを認めて謝らなければならない事があるということです。

中には、「これは俺じゃないでしょー！」と思えるような場面もあるので難しいのですが、基本的には自分のせいだと思い、そしてそのように振る舞った方が、少し長期的にみたとき、状況は良くなります。これは、サラリーマン時代に嫌と言うほど経験したので、確信を持って言っています。

なのに、他人や物に責任を擦り付ける人が多い。

正しい努力の仕方と情熱を持てる目的の見つけ方

しかも、本人には、なんと自覚がなかったりするのです。長年繰り返している事で身に付いてしまった、無意識の悪癖というわけです。

でも、周囲の人間は大概それに気づいてますから。気づいているのだけでも、指摘したりツッコんだりすることでおかしな空気になったり、その人を傷つけたり、恨まれたりする、その可能性を恐れるが故に、気付いていないフリをしているだけなのです。これは、別の場所でお話した「自慢する男」にも同じことが言えますね。自慢（だと思われる行為）はマジでやめた方がいいという話です。

何も知らない赤ちゃんみたいな人はおおこの人すげーとか思うかもしれないけど、大人はそうはいかない。「こいつイタイな」と思いつつも、体良く振る舞っているだけなのです。

・・・みたいな話を軽く頭に入れつつ、本題へとまいりましょう。

【目次】

1. 「誰の責任だ!？」
2. 「俺は努力してる! 頑張ってる!」
3. 「あなたに賭けてます!」
4. 「大切なものは、ほしいものより先に来た」
5. 心の声 (コア) の見つけ方

1. 「誰の責任だ？」

『上手くいく人といかない人の決定的な違い』では、うまくいかない人の特徴として、「問題を自分の外側に探ってしまう」ということを最初に話したと思います。要するに、誰かのせいにしてしようとしているということです。

「なぜこんなことになったんだ？
悪いのは誰だ？ あいつか、それともこいつか？
原因はなんだ？ 株価の変動か、政策の影響か？

あの会社の景気が悪いから……
パートナーとの相性が悪かったから……
メンターが詐欺師だったから……

そもそも親の教育がおかしかったんじゃない……
会社が多くの時間を奪ってくるから……

もっと顔が良ければ……
あんときの泥棒のせいだ……
雨が降ったせいかもしれないなあ……」

違いますよね。

先ず、なんでも短期的に考えてるからそういう思考パターンに陥ってしまうということが言えます。もっと“長期的”に物事を捉えることができれば、例えば「あの時の失敗を教訓にしたからこそ今の自分があるんだ」とか思えるくらいの状態になれば、現時点でのネガティブな問題は結果的に、「良い出来事」ということになってくるわけです。

こういう風に考え出すともう、何事も、

自分との対話によって自分の内側に答えを見出すしかない

という結論になってきます。

自分の外側に問題を探っているのが物凄く時間の無駄と言うか、かなりナンセンスに思えてくるのです。「誰の責任だ？」じゃないんですよ。そりゃあ誰かのせいでそうなったかもしれないけど、内側に目を向けないことには何も生まれません。これは忘れないようにしたいですね。

2. 「俺は努力してる！ 頑張ってる！」

何か欲しモノがあって、それを手にするための作業や勉強をしているとき、「俺は努力してるんだ、頑張ってるんだ」と常に、リアルタイムにそう自分に言い聞かせているということが、上手くいかない人の特徴の一つだと言いました。

これは、目には見えないけれど、物凄くたくさんのエネルギーを使っているのです。それは、「下がる」のを阻止しようとするエネルギー。負の方向に落ちていくのを引き留めようとするエネルギー。これはツライです。すぐに底が尽きてしまいます。

“努力する努力”は続かない

のです。

これはもしかすると言い過ぎかもしれないですが、常に「努力する努力」をしている人と言うのは、

“努力という行為に依存している”

と言えるのではないのでしょうか。

「努力してるんだから、頑張ってるんだから大丈夫」もっと言うと、「努力さんに取り入っていけば、自分の想いは叶うんじゃないか」みたいな深層心理が働いているんじゃないか。結局、自分ではないダレカ（ナニカ）に依存しようとしているといえるんじゃないか。

これはつまり、『自分の外側に問題を探ろうとしている』ということにもつながってくるんじゃないか。……とか思ってしまうですね。

一方で、上手くいっている人は、努力する努力なんかしていないわけです。なぜかという、そもそも下がってないから。“ある大切なモノ”を根っこに持っている、デフォルトですでに上がってる状態なんですね。言い聞かせなくても、勝手にやるんです。自然と、やる方向に気持ちが向くんです。

「ある大切なモノ」と言いましたが、これは、

それをやっているときはいつでも、「フロー」と言われる一点集中状態、また、それ以上の「ゾーン」といわれる極度の集中状態に入ることができる、そんな“目標”をどこかで持っている

ということです。

今回は、それを「心の声 (コア)」と呼ぶことにしますが、それはまたあとから詳しく説明するとして、そういう目標の道中にいる人を見ると、凄く努力して頑張っているように見えます。辛い思いや痛い思いをして、それでも前に進んでいるように見えるかもしれません。

僕自身、それはよく言われます。

「凄く努力されてますね。偉いですね」

実は、そんな風に思っているのは周りの人間だけです。本人は1ミリもそんなこと思っていない。

努力している姿。
頑張っている姿。
辛さを我慢している姿。
乗り越えようとしている姿。

そういう姿を見て欲しい。
そして同情して欲しい。
そして評価して欲しい。

……なんて思ってないですよ。ただただ、自分の心の声 (コア) に従って、道中を「楽しんでいる」だけです。そういう意味で、周囲から見たら辛そうに見えるボクらは“楽”なのです。

他人の目、他人の価値観。そういうある種のノイズによって、自分の心の声が聞こえなくなりもがいている人ほど、ボクらからみると果てしなく辛い思いをしているように見えてしまいます。

何事も、上手くはいかないと思います。

3. 「あなたに賭けてます！」

「あなたの教材に賭けてます！」

「あなたのプロジェクトに賭けてます！」

「せっせと努力します。一生懸命頑張ります。だからどうか、私を救ってください。僕を成功させてください、どうか。」

こういう人は後を絶ちませんが、

テメーに賭けろよ馬鹿

とまあ、平たくいうとこういう話になってきます。

これって逆に言うと、「失敗したらあなたのせいです」って言っているようなものじゃないですか。言われたこっちも気分よくないですよ。気分よくないというか、なんだか複雑な気持ちになってしまう。

もちろん、自分に課すべき当然の責任として、参加してくれた人に成功してもらうための努力はします。彼らが、自分の思ったように成功できなかったときは、自分の中に原因を問います。反省もするし、時に後悔をするときだってあると思います。でも、それは自らの責任感で、進んでやるべきことであって、人に言われたり押し付けられたりしてやるものでわないのです。

「やるのは自分」だということを前回の音声では言いましたけどね。どれだけやれば結果（成果）がでるのか。それは、その人が、それに取り組みはじめた時点での知識や経験・実力・資質に依存するものなので、客観的にどれだけやればいいのか、なんてことは言えるものではありません（もちろん、提供される資源（教材や環境）が正しいものであることが大前提です）。

傍から見ていて、思うことはあります。

正しい努力の仕方と情熱を持てる目的の見つけ方

「ああ、そこでやめちゃったかあ、惜しいなあ、もうすぐで結果出てたのに……」

「そう、その壁で多くの人がやめるんだ、でも、だからこそ、そこからチャンスなのに……」

思うのですが、でも、去っていく人を引き留めることはできませんから。

それはともかくとして、結局、現時点では足りない要素が自分にいくつもあって、結果諦めてしまった。到達できなかった。それで「あんたのせいだ」なんて思われてしまってはたまりません。

「このプロジェクトに賭けて会社を辞めました」

なんて言われた日にゃあゾッとします。僕はまだ言われたことはありませんが、しょっちゅうそういうこと言われている男がいて、その男の複雑な表情を傍から見ていると、ああ大変だなあとか思ってしまうわけです。

で思うのは、そういう人って、逆に自分が同じことを言われたらどう思うのかな、ということは、好奇心で思うところです。きっと凄く「引く」んだろうな、とは想像しますが。

「効果が出ないようですので、返金をお願いします」

とか言ってくる人も、センスがないなと感じます。返金を行使すること自体、その人が持つ権利なので問題ないんです（保証が付いていれば、ですが）。

ただ、理由がショボイじゃないですか。「効果が出ないようですので……」マインドがショボイと言うか、語彙がショボイと言うか。そういう人は大抵クレマー気質なんです。それならよっぽど、「すいません、今月お金が厳しいのでお金返してもらえませんか？」っていわれた方が、僕は気持ち良いですけどね。

「こういう人には、協力者や応援者が現れない」というようなことも音声で言いました。

なぜか？

誠実に見えないから

です。

そういう人と関わっていると、「いつか自分のせいにされるんじゃないか」「いつか裏切られるんじゃないか」という気持ちになってくるのです。

最近では、「将来性のある人（特に若者）には投資してもいいなあ」ということを思ったりするのですが、こういうタイプの人には1円でも無理です。お金の問題ではなく、かかわっちゃダメだと思ってしまう。

ただ、わかってほしいのは、「0か100」か、という話をしているのではないということです。これも音声で言ったと思いますが、人間なもの。みんな、そういうマインドは多少持っていると思います。僕にもあると思います。仕方がないと思います、人間なもの。

ただ、言っているように、「他者依存・被害妄想マインド」の総量が多ければ多いほど単純にダメだと思うし、また、それが顔を出してくる間やタイミングの問題も大きいと思います。

なくす努力をしなくてはいけないと思います。

書いていて思ったのですが、そういうタイプの人って、人の話をちゃんと聞いてない傾向にありますね。

「あのねあのね聞いて聞いて」みたいな「かまってちゃん」がとても多い気がします。目の前で人が話している時、相手が話し終えるのを今か今かと

正しい努力の仕方と情熱を持てる目的の見つけ方

待ってる。頷く回数や相槌が必要以上に多い。

要するに、人の話をちゃんと聞いてないんですよ。見てるとわかります。一瞬でわかる。あなたに賭けてますとか言いながら人の話を聞いてないってどーゆーことだ、とか思いますね。

・・・

色々言いましたが、まあとにかく、そういうところがですね、人生の質を大きく左右していると思うのです。だからボクらは、人生の質を落とすめしてしまう、こういう「負の資質」については、意識的に、徹底的に是正してかなければなりません。

残念ながら、「あなたに賭けてます！」とか言ってしまうような人に限って、「起業」を目指していたりするわけですが、少なくとも起業家向きではないです。

「起業家」というのは一つの生き方なので、「起業家＝偉い・凄い」とか思いこんでる人は、考えを改めたほうがいいと思うのですが、ともあれ、このメルマガを読んでいる人は起業家を目指している人、もしくは起業家として成長しようとしている人が多いので言っているのですが、起業家というのは、ある意味クリエイティブな職業です。

少し乱暴な表現ですが、自分の頭で考えて、自分の責任で決断して、そこから生まれる何かしらの価値を世の中に差し出していく。これが起業家だと思います。自分に賭けることができない人間には向かない職業だということですね。

誤解してほしくないのですが、これは、現時点での「資質」の問題です。僕の理解では、「資質」というものは意識や努力で変えることができるものです。救いようがない人間をただ扱き下ろすためにわざわざこんな話をしていっているわけではありません。

「本当に、救いようがないなこいつわ」とか思える人間もたまに見ますが、そういう人は今これを読んでいないと思うのです。だからもし、今「ドキッ」としていたとしても、心当たりが出てきたとしても、大丈夫。本当に救いようがない奴は、言われてもピンと来ない、気づけないんですよ。

たとえ、あなたが今どんな状況でも大丈夫です。

だから、他人に賭けるんじゃなくて、自分に賭けた方がいいですよ。

4. 「大切なものは、ほしいものより先に来た」

覚えていないかもしれませんが、さっき

「心の声（コア）」

というものについて少し触れました。

ここからが本当に大切な話になってきます。

それで話していくのですが、今達成したいことや手に入りたいものがあると思います。「莫大な現金が欲しい」でもいいし、「女にくっそモテたい」でもいい。別になんでもいいと思います。最初の頃は、誰でもそんなもんです。僕もそうでした。

それはいいんですが、

常に“自分の心の声”に耳を傾けること

を意識すべきだと思います。

自分は、、、

本当は、何をしたいのか？

本当は、何者になりたいのか？

本当は、どこに向かいたいのか？

本当は、誰といたいのか？

他者に依存していると、自分の心の声は聞こえなくなります。そうなってくると、例えば、「あの人が成功しているから」「ネットビジネスが儲かるらしいから」こんな理由でビジネスをはじめてしまうのです。「あの人が乗っているから」「あの人が住んでいるから」こんな理由でフェラーリや億ションを欲しがります。

本当に心の声がそれを望んでいるならいいのですが、多くの場合、心の声に従った流れではないものだから、勉強や作業に「ハマる」ことができないのです。そうして、他人の現実が自分の夢や志だと勘違いしてしまい、自分を騙していることにも気づけなくなってしまう。

だから、「努力する努力」のスパイラルにハマり、そこから逃れることができなくなり、苦しみ続けることになってしまうのだと思います。

僕の場合、幸運なことに、そのような状況に陥ることはありませんでした。

お金は欲しかったし、女性にモテモテになりたかったです。割と強欲な方だったのかもしれませんが。とにかく、そういうものが欲しかった時期が何年も続きました。

他と違ったのは、

心の声が聞こえていたこと

だと思っています。

成功者・強者の価値観や人生観に、常に憧れを抱いていました。中でも尊敬する師匠やメンターを見て、「俺も、ああいう価値観を持ちたい」「俺も、こういう人生観で生きたい」「そういうのが似合う男に早くなりたい」「そしていつか、自分もそう思われるようになりたい」……なんてことを常に思ってた。

ここに、僕の“心の声（コア）”がありました。

本当の意味で「自分の」人生を生きる。
そんな『主人公の生き様』に人が集まってくる。
強くて、温かくて、魅力的なリーダーになること。

こんな風に“コア”を言葉で表現できるようになったのは、本当に最近の話です。

“ヒーロー”になること。
小さな世界のヒーロー集団をつくること。

正しい努力の仕方と情熱を持てる目的の見つけ方

コアは、シンプルに進化していきました。

自分のコアの原石は、働き始めてから芽生えたものだと結構最近まで思っていたのだけど、どうやらもっと昔、中学生くらいの頃からぼやっとあったのだと少し前に気づきました。

ただ、ここに辿り着くまでが未熟すぎました。ただひたすら、お金を稼ごうとしていた時期があります。ただひたすら、人（特に女性）にモテようとしていた時期があります。この仕事をしてなかったらたぶん、こんなカッコ悪い過去の話はしていないと思います。

しかしです。未熟だったかもしれない。表現方法は不細工だったかもしれない。だけど、どこかで“コア”を意識していました。コアがあったから、それを達成するために必要だったインプットやアウトプットの時はいつも、「フロー」もしくは「ゾーン」に入ることができたのだと思います。「努力する努力」みたいな不毛な状況に陥ることがなかったのだと思います。

そして、かつて目指していた額の収入が入ってくるようになっても、結局、高級車を買うことはなかったし、高級マンションに住むこともありませんでした。会社の規模を大きくすることもなかったし、社員を沢山抱えることもなかったし、六本木にオフィスを構えることもありませんでした。彼女や愛人をつくることもありませんでした。

僕のコアが、僕を導いてくれていたのだと思います。だから、誰に教わることもなく本能的に、

問題は常に自分の内側に探ったのだと思うし、努力を努力だ
と思わなかったのだと思うし、常に自分に賭けてきたのだと
思う

のです。

僕のコアが、僕を守ってくれていたのだと思います。

「大切なものは、ほしいものより先に来た」

……というのは、漫画『HUNTER×HUNTER』のジンの言葉ですが、まさにこれだったような気がします。カッコつけすぎでしょうか。でも、自分なりに凄くしっくりきています。

これからは、『コア』を意識して生きてみてください。答えは『コア』にあります。あなたの中の、本当の心の声（コア）がすべてを教えてください。

5. 心の声（コア）の見つけ方

「どうやってコアを見つけるの？」

「私にコアはあるのだろうか？」

と思う人もいるかもしれません。

もし今、コアが見つからない場合は、無理して見つけようとしなくてもいい

正しい努力の仕方と情熱を持てる目的の見つけ方

だと思います。僕のように、強烈な憧れの存在が身近に現れることでコアが見えてくるパターンもあれば、有効なワークによって見えてくるパターンもあります。

今「有効なワーク」と言ったのですが、これに関しては、FORTUNE という教材の中で語られていて、ワークと共に「モデリング」という作業によってコアを見つける仕組みになっています。だから、まだ持っていない人は買ってください

……と言いたいところですが、今から言う事さえ素直にやってくれたなら、近い将来、コアはきっと見つかるでしょう。

それは、

今立っている人生におけるステージを上げること

です。

「人生のステージ」です。僕の中で、人生におけるステージというのは、“他者への影響力”です。他者への影響力の範囲が広いほど、濃度が高いほど、その人のステージは高くなる。簡単に言うところこんなイメージを持っているのですが、同時に、

現在立っているステージと、コアの理解度は関係している

とも思っています。

これは、自分自身の経験や、これまで関わってきた色々な人の経験を踏まえて言っているのですが、ステージを上げれば、コアは自ずと見えてくると考えているのです。

じゃあ何をすればいいのか？

安心してください。起業しろとかビジネスをはじめろなんて言いません。

何でもいいので、

人から感謝されることを意識的に、積極的にやる

これを忘れないでください。

感謝に勝る信頼はないと思います。信頼に勝る影響力はないと思います。

感謝される経験を積めば、確実に人生のステージは上がる

のです。

ビジネスやチャリティーというのは、ステージの上昇を加速させるための有効な手段だとも言えると思うのですが、いきなりそんなことやらなくてもいいです（もちろん、できるならチャレンジしてほしいですが）。身近な人でいいので、誰かに感謝されるようなことを意識してやってみてください。

悩みにフォーカスしてもいいと思います。誰かの悩みを訊いて、解決策を調べて、それをその人が受け入れやすいようにわかりやすくして提供してあげる。これはとても感謝されます。コンテンツビジネスなんて、根本はこれですからね。

それが難しいなら、『遠く離れた両親に電話して、気遣いの言葉をプレゼントする』とかそんなことでいいんですよ。

とにかく人から感謝されることを意識してやってみましょう。「感謝されることを目的にするのはどうも……」とかアホなこと考えないでくださいね。信念は、行動から作られるのですから。自分の可能性を広げる行動を意識

正しい努力の仕方と情熱を持てる目的の見つけ方

してください。自分にチャンスを与える行動を意識してください。

『ウマくいく人といかない人の決定的な違い』は、とどのつまりはそこにあるんじゃないかと思います。ウマくいく人の思考・行動パターンは、可能性を広げているのです。

常に、自分にチャンスを与えている

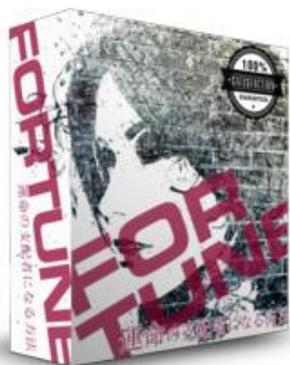
のです。

ウマくいかない人は、逆に可能性を閉ざす思考・行動パターンになってる。常に、自分のチャンスを剥奪しているのです。このことは忘れないでいてほしいと思います。

では、最後まで読んでいただきありがとうございました。

Arigato! ★ Aun

★このレポートを読まれたあなたにお勧めの講座



FORTUNE—運命の支配者になる方法—

自分に都合よく運命をコントロールし、望み通りの理想や成功を獲得することを可能とする4つの奇跡の資質……

1. 他人の能力を最短・催促でバクする資質
2. 思考。妄想を忠実に現実化する資質
3. 結果が出るまで行動を継続する資質
4. 真実の成功習慣を見極め実行する資質

これら4つの資質を手に入れ、確実な進化と成功を手に入れてください。

▶ 製品の詳細はこちら